

第二節 人の心を導く力

神の力が宿る環境

神示教会に信者と籍を置き、よかったと感じているでしょうか。どのようなところに、神示教会の価値があるでしょうか。人には、先を読むことができません。しかし、神は、その時々に必要なことを、次々とお教えくださいます。そうした神のご指導をいち早く学べるのが、神示教会です。

神示から生き方をつかむ

この教会には神示があります。先の分からない人間に、どのような生き方をしなくてはいけないかを、神がお示しくくださいます。なぜこのような現象が起きているのか、社会動向の背景にあるものもご指導くださいます。ですから、神示は宝です。神示を学んでいると、日々の生活での確に判断できる自分となります。

先のことだけでなく、人には見えないものがたくさんあります。そうした見えないものに向けて、気付き、悟りを与えるのが、神示です。なぜ迷うのか、なぜ苦しむのか、何を基軸

に生きなくてはいけないのか、それが分かれば的を射た祈願もできます。

運命に沿って生きることが

神の教えを学んでいると、自らの運命に重なる心の動きができてきます。与えられた力を知り、至らないところも理解して、開運を目指して生きていくことができます。感じ取る能力が増し、分、器をわきまえて、運命に沿って生きられます。神示から正しい生き方をつかみ取り、たった一度しかないこの人生を悔いのないものにしていけるのです。

神のご指導を心の基軸に

神示教会に信者と籍を置く価値は、まさにここにあります。一年の歩みも、どのような年となるか、何が必要なのか、大切なところを学び取ることができます。それを心に据えて暮らせば、何の心配もありません。

神示

——神の力が宿りし この環境が

不安に迷う社会の姿を 「正道」へと導いてゆく——

「教え」に悟りを開き 「運命」の力で家族に触れる 信者を目指す

「教え」が家族の心をつなぎ 互いの心が重なり合っ

「真実」和心育つ家庭を築いてゆける

いよいよ世界は 「真理」を軸にまとまりを見せてゆく

「真理」を欠き 知識に心のまれた人の姿は 修整される